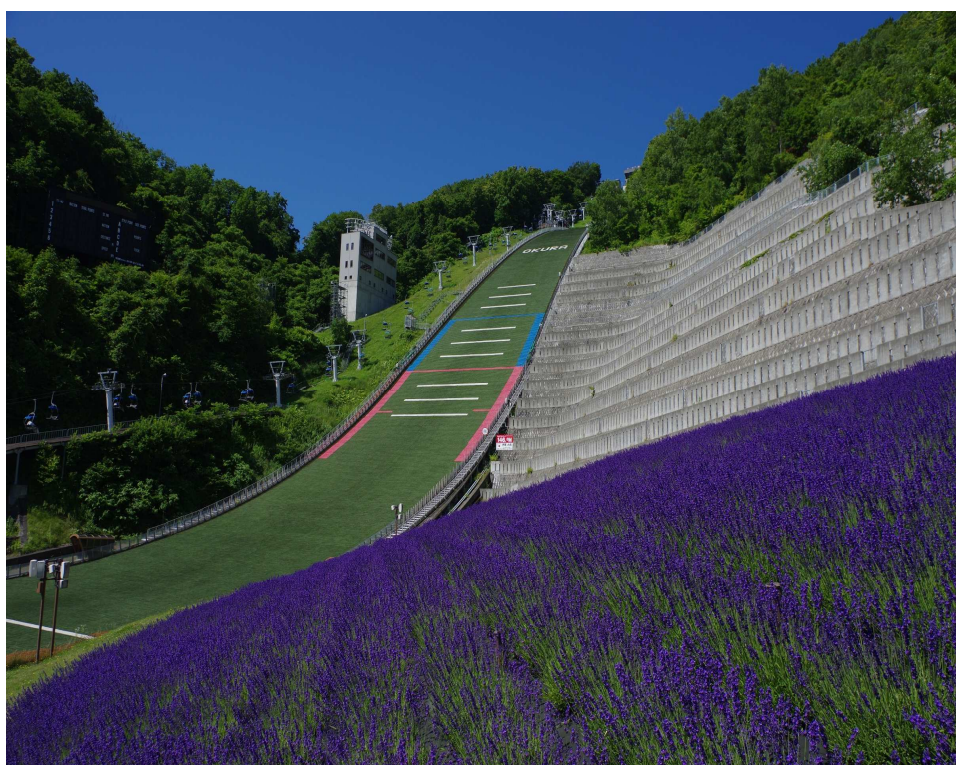
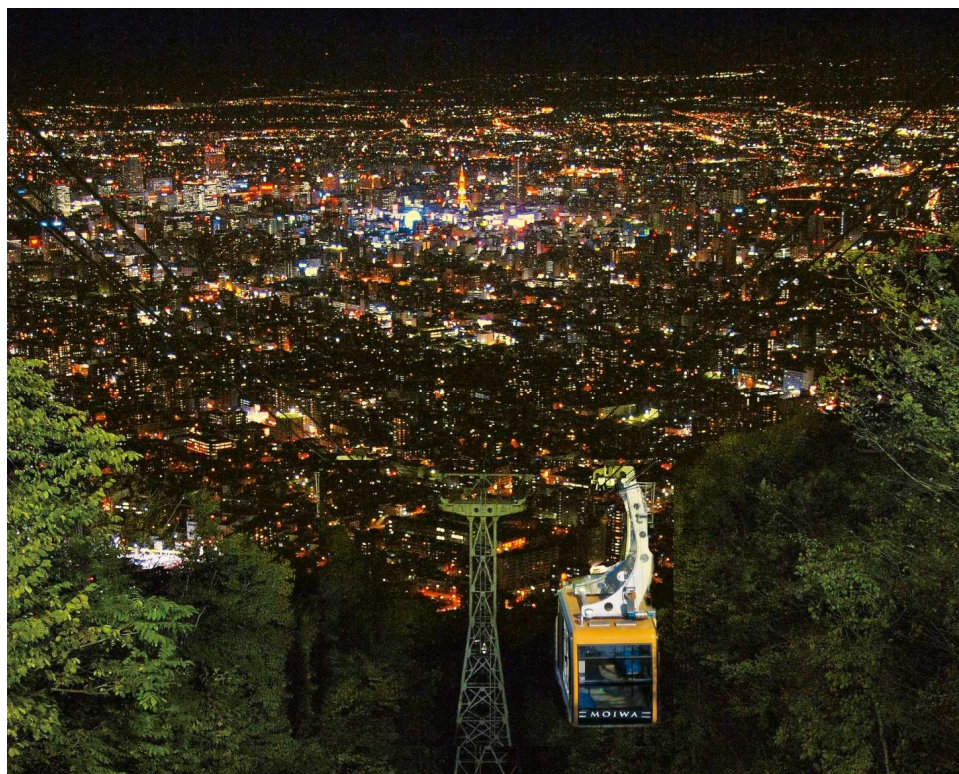


安全報告書 2016



株式会社 札幌振興公社

株式会社札幌振興公社 安全報告書

藻岩山ロープウェイ（複線交走式普通索道）
大倉山ジャンプ競技場リフト（単線固定循環式特殊索道）

平成27年度分

（2015年度分）

目次

	利用者の皆様へ	1
1	安全基本方針	1
2	安全重点施策	2
3	事故等の発生状況	2～3
	3-1 索道運転事故	2
	3-2 インシデント	2
	3-3 強風・雷・大雪による運休の状況	3
4	輸送の安全確保のための取組み	3～8
	4-1 安全統括会議及び現場巡回	3
	4-2 安全教育	4
	4-3 緊急時の対応訓練	4～5
	4-4 情報の伝達と共有	5
	4-5 自然災害への対応	5
	4-6 索道施設の整備	6～7
	4-7 その他の取組み	7～8
	4-8 平成28年度整備計画	8
5	安全管理体制	9
	5-1 安全管理体制	9
	5-2 ご意見をお寄せ下さい	9

利用者の皆様へ

株式会社札幌振興公社の索道事業に対して、日頃のご利用、誠に有難うございます。

当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

また、昨年10月には、札幌市が「日本新三大夜景」に認定されたことが追い風となり、国内外から多くのお客様にご利用いただいております。

今後もスタッフ全員が一丸となり、より一層安全で快適な輸送を目指して参ります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

株式会社 札幌振興公社
代表取締役社長 星野 尚夫

1

安全基本方針

当社は安全第一の意識をもって事業活動を行い、「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下全社員に周知・徹底しています。

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し厳正・忠実に職務を遂行すること。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- (4) 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時はもつとも安全と思われる取り扱いをすること。
- (5) 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- (6) 情報は漏れなく迅速正確に伝え、透明性を確保すること。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

安全基本方針に基づき、お客様の事故防止や安全確保に最善を期するため、平成27年度の安全重点施策を次のように策定しました。

《目標1》「安全が最優先」「安全が最高のサービス」を浸透させます。

(1) 基本動作を徹底するための教育訓練の実施
(藻岩山、大倉山共通取組)

(2) 安全マネジメントシステム（PDCAサイクル）による業務改善
(藻岩山、大倉山共通取組)

《目標2》コミュニケーションをとることで、不安行動や事故を防止します。

(1) 毎日の業務引継ぎ方法を、担当区分ごとに工夫し、明確化
(藻岩山、大倉山共通取組)

(2) ベテランと初心者のギャップを解消するため、マニュアル等を整備
(藻岩山、大倉山共通取組)

《目標3》安全で安定した運行のための業務改善に取り組みます。

(1) 自然災害への対応マニュアルを整備し、早目の規制で安全を確保
(藻岩山、大倉山共通取組)

(2) 減速機等のオーバーホールを行い、主要機器の経年劣化に対応
(大倉山取組)

(3) 将来にわたる安全性と経済性を検討し、必要で十分な保全計画を策定
(藻岩山取組)

3-1 索道運転事故

平成27年度は索道運転事故の発生はありませんでした。

3-2 インシデント

索道運転事故の発生する恐れがあると認められる事態のことで、平成27年度はインシデントの発生はありませんでした。

3-3 強風・雷・大雪による運休の状況

(1) 藻岩山ロープウェイ

終日運休	11日間（123時間30分）
一時運休	29日間（138時間50分）

(2) 大倉山ジャンプ競技場リフト

終日運休	6日間（45時間30分）
一時運休	23日間（62時間40分）

4

輸送の安全確保のための取組み

4-1 安全統括会議及び現場巡回

当社における安全管理体制の構築、実施及び維持に関する取組みは平成27年4月に設置した「安全統括会議」を中心に推進しており、経営トップと安全統括管理者による現場巡回と合わせて展開することで、経営層と現場の双方向コミュニケーションの確立・強化を図っています。

(1) 安全統括会議

安全統括会議は、社長をはじめとする本社の経営層部門と現場で索道を運行する藻岩山事業部及び大倉山事業部の実務担当責任者で構成し、安全統括管理者が議長となって毎月定例的に開催しています。

この会議には、運行・整備状況の月次報告、事故・トラブルに関する報告と対策の策定、安全目標・重点施策の策定と進捗管理、安全に係る各種計画や結果報告などを諮り、討議の結果や配付資料は報告書にまとめて社内に周知しています。



毎月開催している安全統括会議

(2) 現場巡回

経営層による現場巡回を計画的に実施し、経営トップから安全に関わる方針などを訓示して周知するとともに、直接対話を行うことで意見・要望を収集しています。

平成27年度の計画的な現場巡回は、ゴールデンウィーク期間中、夏の繁忙期、年末年始の繁忙期、雪まつり期間中に実施し、さらに重大事故を想定した現場での訓練も経営トップが参加して評価を行いました。



大倉山ジャンプ競技場リフトの現場巡回

4-2 安全教育

(1) 定期教育

指差呼称や機械装置の取り扱いの基本動作を徹底するための集合教育、安全管理規程、運転取扱い細則、整備細則等の再教育を目的とした勉強会、過去の事故等の例を題材にした研修などを、施設の整備（12月検査等）に伴う営業休止期間中に実施しました。



藻岩山ロープウェイの安全教育
(整備期間 H27.12.3)



大倉山ジャンプ競技場リフトの安全教育
(整備期間 H27.4.15)

(2) 「安全への取り組み」の発行

安全関係の知識や事故情報等に関する情報を現場の社員から上層部まで周知することを目的として、平成27年7月から「安全への取り組み」という資料を2週間に1回発行しています。



「安全への取り組み」の例

4-3 緊急時の対応訓練

営業運転中の停電などを想定した予備原動機操作訓練や機械装置の故障を想定した訓練は、全員が同じレベルで対応できるようになることなどを目標にして繰り返し実施しています。

実施後の振り返りに基づいて次回の訓練では改善を重ねて行くようにして、安全マネジメントシステム（PDCAサイクル）を意識した業務改善に取り組みました。

また、藻岩山ロープウェイで営業休止期間中に実施した救助訓練では、札幌市消防局と合同で取り組み、緊急時の連絡体制等も確認しました。

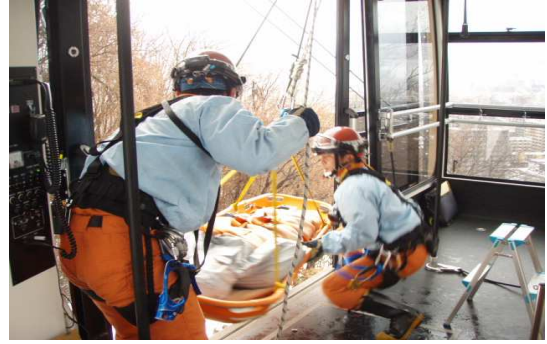
【藻岩山ロープウェイ】 (実施日：H27.12.2)



ロープウェイからの緩降機による救助訓練



予備原動機操作訓練



札幌市消防局との合同訓練

【大倉山ジャンプ競技場リフト】（実施日：H27.4.15）



リフトからの救助用具による救助訓練



予備原動機操作訓練

4-4 情報の伝達と共有

コミュニケーション不足による思い込みや勘違いなどに起因するエラーを防止するため、毎日の業務に関わる様々な情報をわかりやすく確実に伝達するための改善に取り組みました。

(1) 情報掲示方法の改善

毎日の業務に必要な情報を、内容や緊急性などを考慮して配置するようにし、わかりやすく掲示するように改善しました。

勤務シフト等、気象情報、運行情報、検査等予定、イベント予定、緊急連絡体制などの情報を分類・整理して掲示し、常に最新状態に更新しています。



藻岩山ロープウェイ中腹駅事務室の「情報掲示板」

(2) マニュアル等の整備

ベテランと初心者のギャップを解消するためのマニュアル整備などを計画しており、平成27年度は、主に初心者を対象にした始業点検マニュアルなどの作成に着手しました。

4-5 自然災害への対応

安全で安定した運行を確保するために、自然災害への対応マニュアルの整備を計画しており、平成27年度は、雷対応のマニュアルを作成しました。

4-6 索道施設の整備

当社の索道施設は、観光及びジャンプ競技大会に使用しているため、一年間を通じてできるだけ多くの営業日を確保するように整備計画を作成しています。

このため、作業に時間を要する12月検査及び比較的大規模なオーバーホール等の整備作業は、営業休止期間を設けて実施しています。

【藻岩山ロープウェイ】

平成27年度の営業休止期間には、接続装置解体点検、搬器移動、制御保安点検、各機器のオイル交換などの整備を実施しました。



接続装置解体点検、搬器移動



搬器揺れ減衰装置の部品交換

また、4年前に全面リニューアルしたロープウェイ施設は今後本格的な整備を必要とする時期を迎えるため、部品等の劣化状態を監視する手法も取り入れて、長期的に最適な保全計画の策定に着手しました。

【藻岩山ロープウェイ】		【大倉山ロープウェイ】	
ロープウェイ	索道種別	索道種別	索道種別
<p>●山麓駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●中継駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●山頂駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p>	<p>●山麓駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●中継駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●山頂駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p>	<p>●山麓駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●中継駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●山頂駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p>	<p>●山麓駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●中継駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●山頂駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p>

【藻岩山ロープウェイ】		【大倉山ロープウェイ】	
ロープウェイ	索道種別	索道種別	索道種別
<p>●山麓駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●中継駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●山頂駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p>	<p>●山麓駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●中継駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●山頂駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p>	<p>●山麓駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●中継駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●山頂駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p>	<p>●山麓駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●中継駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●山頂駅（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p> <p>●索道車（下部索道、上部索道）</p>

「保全計画検討シート」の例

【大倉山ジャンプ競技場リフト】

平成27年度の営業休止期間には、制御保安点検、各機器のオイル交換などの整備を実施するとともに、主要機器の経年劣化に対応するための計画的整備として、リフト減速機のオーバーホール、予備原動機のオーバーホール、原動緊張滑車のゴムライナーの交換を実施しました。

なお、握索機の解体点検、搬器移動については営業日の営業時間外に整備を実施し、その際に、経年劣化対応の計画的整備として、握索機10台の交換を実施しました。



減速機オーバーホール



原動緊張滑車ゴムライナー交換



予備原動機オーバーホール



制御保安点検

4-7 その他の取組み

(1) 大倉山ジャンプ競技場リフトの安全対策

リフト乗降場の安全対策については継続的な改善が必要であることから、安全マネジメントシステムの考え方（PDCAサイクルを回すこと）により、改善に取り組みました。

- ①利用者の国際化や高齢化に対応するため、リフト乗場に4か国語の注意看板を設置し、乗車の際は必ず注意看板を見てもらい、乗降時はリフトの速度を下げ乗降することとしました。
- ②リフト降場手前に転落時の怪我防止用として人工芝を設置しました。
- ③山麓リフト及び山頂リフト周辺通路にゴムマットを敷き、ゴムマットの上に赤の矢印でペイントし乗場、降場を分かりやすくしました。
- ④リフトの乗り方について、当社ホームページに「安全なリフトの乗り方」という静止画と動画を掲載しました。



山頂リフト降り場周辺



山頂リフト乗り場通路

(2) 接客研修

お客様の多様化にも対応した接客についての研修を実施し、安全・安心・快適な索道施設を目指した取組みを進めています。



接客研修（実施日：H27.6.10）

(3) AEDの設置・救命講習・消防訓練

各施設にAEDを設置するとともに、毎年（公財）札幌市防災協会から講師を招き、社員のほとんどが普通救命講習（心肺蘇生法、AEDの使用、止血法）を受講しています。

また、年2回の消防訓練を実施しています。

【藻岩山ロープウェイ】



普通救命講習（実施日：H27.12.2）

【大倉山ジャンプ競技場リフト】



消防訓練（実施日：H27.6 H27.11）

(4) テロ対策等

テロ対策等のために「防犯カメラ作動中」を館内や各出入口に掲示しました。

【藻岩山ロープウェイ】



4-8 平成28年度整備計画

主要機器の経年劣化に対応するための整備として、平成28年度は次の事業を計画しています。

【藻岩山ロープウェイ】

(1) 走行輪分解整備

【大倉山ジャンプ競技場リフト】

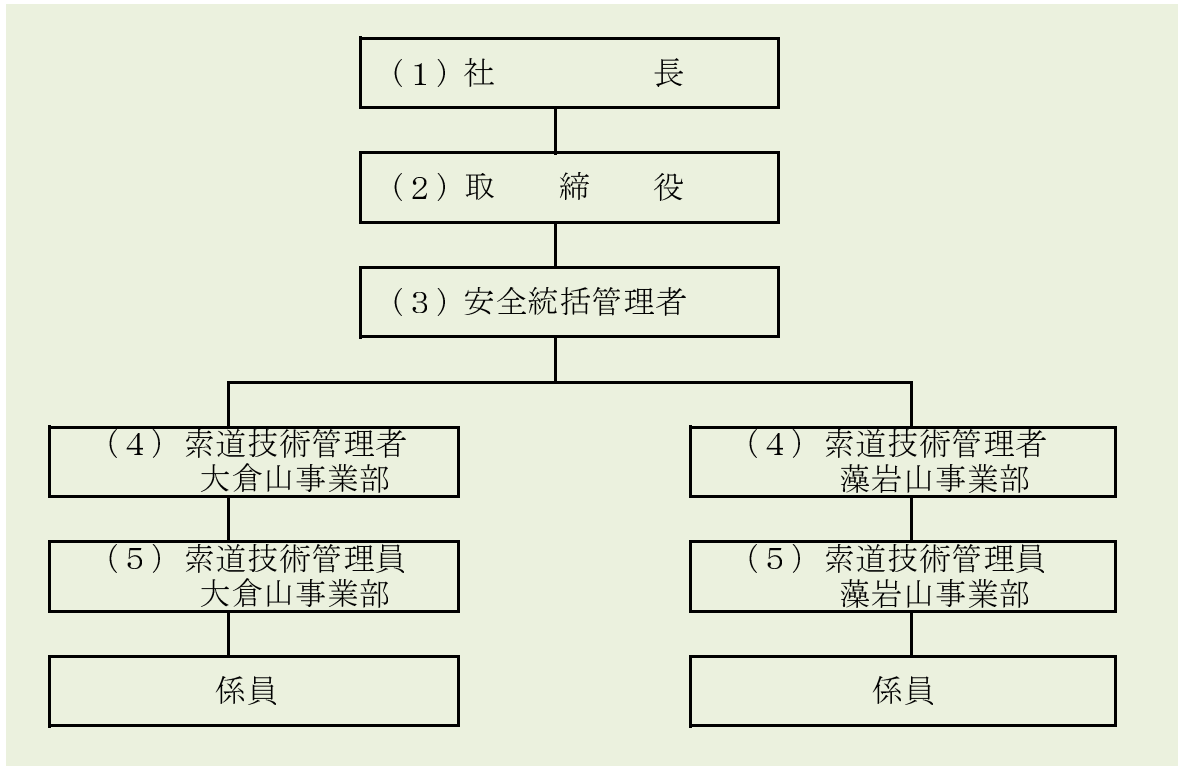
(1) 緊張装置油圧ユニット更新

(2) 制動装置油圧ユニット更新

(3) 折返滑車軸組整備及びゴムライナー交換

5-1 安全管理体制

当社の索道事業における安全確保に関する体制は、下図のとおりとし、各責任者の責務を明確にしております。



- (1) 社長 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
 (2) 取締役 設備投資、人事、財務に関する業務を統括する。
 (3) 安全統括管理者 索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
 (4) 索道技術管理者 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
 (5) 索道技術管理員 索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。

5-2 ご意見をお寄せ下さい

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

藻岩山事業部 TEL (011) 561-8177
 (藻岩山ロープウェイ) FAX (011) 561-8178
 HP <http://www.sapporo-dc.co.jp>

大倉山事業部 TEL (011) 641-1972
 (大倉山ジャンプ競技場リフト) FAX (011) 632-4901
 HP <http://www.sapporo-dc.co.jp>